

令和5年度第4回山陽小野田市公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 令和6年3月15日(金曜日) 15:00～15:28
- 2 場 所 山陽小野田市立山口東京理科大学 1号館 2階 大会議室
- 3 出席者 委 員 堤委員長、濱口委員、藤本委員
事務局 大坪大学推進室主査、尼崎主任
公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学
池北理事長、望月副理事長、佐々木事務局長、吉村事務局
総務部次長、御手洗事務局総務部総務課長補佐、野田事務局
総務部財務課長補佐

—開会—

4 議 事

(1) 法人理事長及び副理事長あいさつ

(2) 議題 (1) 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学第2期中期計画の変更認可に係る意見について

法人より、この度の変更は、新しい学部及び研究科の設置が市の中期目標において認められたことを受け、中期計画中の「第1 中期計画の期間及び教育研究組織」に、「工学部医薬工学科」、「工学研究科数理情報科学専攻修士課程」及び「薬学研究科薬学専攻博士課程」を追加すること並びにこれらの変更に伴う予算等の変更のため、中期計画中の「第8 その他記載事項」の一部を変更するものである旨の説明を受けた後（資料2～4）、質疑等が行われた。

主なものとしては、「数理情報科学専攻」について、修士課程のみとなっているが博士課程を設置する考えはないか、との質問に対し、今回の修士課程の卒業生が出る令和8年に設置を考えている、との回答や、「医薬工学科」について、医薬品製造関連企業等における認知度が低いように感じる、とのコメントに対し、学科完成年度や就職活動時期を見据え、広報に努めていく、との回答があった。

また、今回の変更内容に直接は関係しないが、この度新聞掲載もされた薬学部1期生の県内就職状況についてどのように考えているか、との質問に対し、全国から学生が集まってくる傾向にある薬学部では、出身地に戻って就職というケースが多いといったことを踏まえても、県内就職率2割弱というのは想像していたよりも低かったことから、引き続き1人でも多い県内就職を目指し取り組んでいく、との回答があった。

—法人退席—

(3) 委員意見交換

特段の意見はなく、市長への答申書（意見書）については事務局案（資料5）のとおり提出することとして承認された。

—閉会—